【１班】博多青松高校、福岡高校、遠賀高校、明治学園、県立中央高校

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ】福岡県立大学：藤井春奈　【書記】子どもネット会議所：橋本晴子

【チーム名】新チーム藤井 GO

F（ファシリテーター）:
S（生徒）
C（書記）

自分たちの身の回りにあるネットトラブルを考えよう
～日常のトラブル、万一のトラブル～

【身の回りで起きた、体験したトラブルはどんなもの？】
【万が一にでも遭いたくないトラブルってどんなもの？】
【自分が被害に遭う、自分が起こしてしまうことの両面を考えよう】

F:ネットストーカー
友達の友達（面識あり）
LINE で電話。ブロックするも友達の LINE からメッセが送られてくる。
S:知らない人から LINE メッセ。本名で登録してた。
S:友達と会っていてもお互いにスマホを使っているので会話が減った。
ワンクリック詐欺
S:TW 同じ高校の生徒をねらって、悪口をどんどん言っていく。
S:出合い系
S:LINE 集合写真を勝手にあげられる
F:塾講師のバイトで WEB サイトに学校名、氏名、顔写真が掲載されていた。ストーカー事件があったので消してもらった。
S:LINE、TW、ゲーム
F:ゲームしながらチャットする機能で変な人、暴言はく小学生がいる。
S:そういったのは通報機能がある。誰でも入れるグループ、承認制選べる。うまくいかなかったときに怒る子がいて、その子以外の子が別グループを作って、それがバレて・・・LINE でもあるね。仲間はずれ。
S:歩きスマホ。ポケモン GO。出現させない動きがある。注意喚起の貼り紙。
S:優先席の近くでスマホ。優先席にすわってスマホ。
S:テクノロジーの進歩に法やルールがおいついていない
人工心臓、飛行機、ドローン。本当に使っちゃだめなの？
S:TW アカウントが乗っ取られる。
S:音楽聞きすぎと親に怒られる。寝不足、勉強してない。
F:親は何を心配してる？寝不足。ネットトラブルに巻き込まれないか。知らない人と会ってないか。
F:自分が親だったら何が心配？
S:課金。詐欺。
F:外国で娘が可愛い格好をして写真アップしているのをみて、自分が同じ格好をしてアップ
F:顔がすぐにバレる
S:消えない
S：就職でも検索されてしまう。

まとめ

【予防】
S:詐欺事例紹介。
F:授業
S:スマホ契約時に課金できないなど設定しておく
S:22 時以降禁止
F:家族ルール
S:何時以降はできないからメッセ送らないでと友達に頼む
S:個人情報が特定される情報のアップを制限。ルールを友達ときめる。
F:本人が顔写真をアップしない子なら自分がアップするときは隠す。
F:誰とでも繋がれるを防止するには？
S:面識のない人とは繋がらないようにする。
F:TW で鍵（相手からのアクセスを制限）
F:ネット上のはぶりは？
S:普段のコミュニケーションが大事。やめようって声掛け。相手の気持ちを考えて行動。ネット以外で直接かかわる。直接会話する機会を増やす。
F:文面気をつけることは？
S:絵文字、スタンプの活用
S:既読無視
S:すれ違い。

【対策】
F:既読無視があった次に学校で合ったらどうする？
S:会って言える子には話せるけど。直接コミュニケーションでカバー。
S:会話を終わるときに理由を言う。スレ違いをなくすために一言入れる。
F:寝るという。
S:バレるとややこしくなる。

日常生活に支障が出てしまったらどうする？
S:スマホを断つ
S:さわってると警告が出るアプリがある。
S:親に預けてロックをしてもらう
S:LINE テスト期間中なので返信しませんと書いておく

歩きスマホ、使いすぎ
S:ポケモン GO を出現させない動き
S:ぶつかったらちゃんと謝る。
S:1 日の時間制限する設定。速度制限がかかるとか。
S:設定時間を超えると親に通知がいくとか
S:今日〇時間使った。その時間があったらこれだけの事ができました。というのが表示される。
F:スマホ以外になにかすることない？
S:テレビ、読書、外で遊んでた、寝てた
S:すごく返信が遅い友達もいる

詐欺
S:相談する。消費者センター。親。学校の先生。専門機関には多くの問い合わせがくるので学校の方が早い。
S:親への対策：携帯購入時にビデオ閲覧を義務付ける

個人情報
S:結構あとになって自分の写真がアップされていたことに気づいた。めんどくさいやつだと思われたくない・・

ネットトラブル

日常生活の支障

勉強時間が減る
会話の減少
やるべきことをしない

使っちゃダメってわかってるけど、なかなか友達との会話やゲームの誘惑に勝てない
具体的なことがわかった方がリアリティがあって心から使ったらだめだと納得する必要がある。

納得するにはどうすればいいか？

改善できたらどんないい状態になる？
スマホを使っいた時間が有意義になる。
自発的にやめられたら持続性がある。

具体案
アプリ
勉強したい人なら単語数
旅行好きなら、どこまで行けました。
自分が興味のあることを表示できるのが良い
説得力が出る。
ジョギング→これだけダイエットできた
「旅行」(韓国につきました。有名な商店街につきました)
「勉強」単語○個。となりの人に 30 点マイナスで負けました。
専門家が情報を提供
できたら実際に旅行できたらいいな。

実際に友達と会う時間が増えてスレ違いが減る

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ所感】
はじめは緊張していたが、時間がたつにつれてグループのメンバーの仲が深まっていき、それぞれの得意分野を活かした話し合いや発表準備を進めており、高校生の柔軟性に驚いた。
ファシリテーターとしてこのカンファレンスに参加できたことは、とても良い経験になった。

【書記所感】
高校生達が活発に議論しながら、柔軟な発想をみんなが楽しみながら展開していて、とても力強く感じました。
ファシリテーターの方もとても上手に話の流れをつくられていて、非常によい熟議ができたと思います。

【２班】福岡講倫館高校（2 年女子） 香椎高校（2 年 男子） 福岡中央高校（2 年男子） 福岡青松高校（1 年女子）
博多高校（2 年 女子）

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ】重田 明里 【書記】雪下 麻子

◆身の回りにあるネットのトラブルを考えよう

F（ファシリテーター）：はじめに「①身の回りで起きた、体験したトラブルはどんなもの？」を考えていきます。ふせんに書いていきましょう。

S（生徒）：−各自ふせんに記入−

F：「②万が一にでも会いたくないトラブルってどんなもの？」「③自分が被害に遭う、自分が起こしてしまうことの両面を考えよう」についても、ふせんに書いていきましょう。ふせんに番号をつけて、15 分間で、まず個人で考えてみましょう。何枚でも OK。

S：③のとらえ方が難しい −全員で悩む−

F：まず①②を深めましょう。

S（生徒）：−各自ふせんに記入−

F：ふせんを模造紙に①②で分けて貼りましょう。貼ったものをグループに分けて、深めていきます。誰かこのコーナーの司会をしてください。

−司会決定−

S：貼ったものをグループに分けます。
→詐欺と個人情報とケンカに分かれる

F：①の体験談から話していきましょう。

S：メールアドレスを登録したら、迷惑メールが来た。「当選しました」「私〇〇だけど・・」

S：インターネットでスポーツ用品安かった クリックしたら会員登録ページになって「登録完了した」

S：インターネットでサイトを見てたら突然カウントダウン「何秒以内に入金を」

S：お風呂あがりの写真（男子）を撮られて LINE グループに貼られ拡散した

S：流した人とトラブルには？

S：いやだなと思っただけで、トラブルにはならなかった

S：ケンカ 本人じゃなくて聞いた人が「〇〇が悪い」「あやまらんとか意味わからん」と書き込み、話が大きくなった

S：友達とオンラインゲーム アイテム購入 お金すぐに返してもらえず LINE でケンカ ブロックしあった

→**詐欺**と**友人関係**の 2 種類にまとまる

S：②万が一にも遭いたくないトラブルも同じように
グループ分けしていきます。

→**個人情報**、**ウイルス**、**ケンカ**、**詐欺**の 4 種類に

F：個人情報とは具体的には？

S：SNS 乗っ取り、写真の流出、情報の悪用

S：ウイルスの具体例は？

S：（機器が）使えなくなるとか

S：ケンカの具体例は？

S：周りの人が横から書き込んで、話が大きくなる

S：詐欺の具体例は？

S：ワンクリック、架空請求

F:具体例が出ましたが、そもそもなぜ遭いたくないのでしょうか？

S:まず個人情報が漏えいすると、自分の家族にも迷惑がかかる、事件に巻き込まれる可能性もある、迷惑メールなどが来るようになる

S:SNS 乗っ取りされると、自分の本意じゃないことを書かれる、勘違いされる

S:今の 2 つは、全部のトラブルに通じる理由

◆ネットのトラブル 対処の方法（実例）

S:①の体験談の際の対処方法を教えてください

S:スポーツ用品購入時 親に相談したがわからず、ダメだったら警察に行こうと思いながらホームボタンを連打したら復旧

S:カウントダウン 電源を落としたら復旧

S:お風呂上がりの写真 画像はもう消せない
もう仕方ない これ以上言うとケンカになる

S:友情を優先 それもあり

S:言われたら笑いを取りに ポジティブに

S:ケンカ 本人同士が直接会って仲直りしたら、周りも静かに

S:オンラインゲーム 直接会って話し合い

◆ネットのトラブル 予防の方法

S:対処の例を参考に、予防方法を考えましょう

S:②万が一にも遭いたくないトラブルの方が考えやすい

S:まずはトラブルの原因を考えると予防法がわかるかも

S:ふせんに原因と予防法を書き込みましょう

＜個人情報の流出＞

S:ケンカが原因でいやがらせ　まずはケンカしないのが予防法

S:むやみにアカウントをつくらない

S:本当に信頼できるサイトか考える
レビューーやみんなの意見を聞いて信頼度を考えて、アドレスなどを書き込む

S:写真などは、本人が知らないところであげたりすることがよくない　動画や写真をアップする前に本人に確認する

S:聞いたことがある写真トラブルの例
後ろの人が移っててその人が訴訟を起こした
許可も取れないし、写真加工も難しい
どうやって予防したらよいのか?

F:許可取ったことある人?

S:SNS やっていない人には（あげてよいか）聞いている

S:LINE グループ内ならいいと思うが、Twitter などにアップするときは許可を取った方がいい

＜ウイルス＞

S:フィルタをかける

S:危険なサイトはもともと見ないようにする
レビューを参考にするのはよい考え

S:岡山県は条例でフィルタをかけることになっている

＜ケンカ＞

S:さっきと逆で、個人情報をあげたことがケンカの原因になることもある

S:許可を取るのはここでも有効

S:送信前に言葉を見直す　一般的に嫌がられる言葉を考えて選んだほうが良い

S:当事者がいないところではいろいろ言わない

S:自分が被害者だと思ってもそうではない場合もある

S:リアルなケンカはネットに持ち込まない

S:ネット上で発生したケンカは、リアルで会える人はいいが、ネット上だけの知り合いだったらできない

S:冷静になるしかない

＜詐欺＞

S:詐欺と乗っ取り　予防法が出ていない

S:個人情報をあげたから詐欺に遭っている

S:使用している自分たちの判断力が大切
親や先生も何か起こらないと気付かない

S:自分たちが気を付けるしかない

F 判断力って何だろう?

S:やる前によく考えること　全部に共通する予防法

S:一度冷静になること

S:以前聞いた講演で　自分の家のドアに貼れないようなことはネットにも書いてはいけない　ネットとリアルは別でないと聞いた

F：ここまでのことをまとめましょう

-まとめる途中に追加された意見は、これまでの部分に併合して記載-

◆ネットのトラブル　対処の方法

S:これまで話したようなトラブルに遭ってしまったら
どうするかを考えましょう

S:一度携帯から離れる

S:時間をおいて頭を冷やす

S:ケンカ　リアルで会って解決　ネット上の知り合いは
謝って誠意を見せる

S:相手の連絡先を知っておくとリアルで会える

S:それでもだめで「逃げた」など言われるなら、そういう相手とはアカウント削除などで縁を切る

S:SNS にはブロックやブラックリスト登録などもあるので上手に利用する

S:一人で解決しようとしない　知識のある人に相談する

S:ウイルス、詐欺など、自分ではわからないこともある

S:自分たちでできることは、フィルタをかけること

F:フィルタをかけている人?

S:携帯購入時にかけている

S:物の購入は年齢制限をかけている

S:他に自分たちでできることは?

S:個人情報対策なら、ロックをかけること

S:自分自身で知識をつけること

F:知識をつける方法は?

S:自分で調べたり、詳しい人に聞いたり

S:自分でワクチンソフトを開発したり！（笑）

＜熟議終了＞

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ所感】

始めはファシリテーターがディスカッションを進めていたが、議論が深まるたびに進行役が機能し活発に意見交換や体験談を話していた。発表準備は早めに始めることができたが、準備に思いのほか時間がかかり十分な打ち合わせができなかった。また、発表の順番も思いがけず１番となり私自身も緊張したが、劇や時間配分も含めとても良い発表になっていた。高校生の生の声や考えを聞くことができてとてもよい経験となった。

【書記所感】

開始前はすごく緊張していた高校生たちが、議論が始まったら次々とふせんに意見を書き始め、それをもとに自分たちでどんどん話を先に進めている姿に驚きました。始めにふせんへの記入を薦めたファシリティーター役の大学生も含め、いわゆるアクティブラーニングをこんなにも自然にやってのける若者に感心しきりです。打ち合わせ時間が短かったにもかかわらず、ほぼ失敗もなく見事な発表だったと思います。

このような場所で書記としてお手伝いできたことをうれしく思います。ありがとうございました。

【３班】福岡県立香椎高等高校　２年生　福岡県立講倫館高等高校　２年生　福岡県立春日高等高校　２年生
福岡県立遠賀高等学校　２年生　明治学園高等学校　２年生　沖学園高等学校　２年生
【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ】福岡県立大学　看護科　３年生　高辻　美優さん　【書記】子どもネット会議所　二宮　佳代子

『身の周りで起きた、体験したトラブルはどんなもの？。』
F：身の回りで起きたトラブルを付箋に書きましょう。
自分におきたことや、友達のことなど。SNS の種類は特定せず。トラブルないように分けて付箋を模造紙には貼りましょう。
F：種類別に分別しましょう。ツイッターの中で似たようなものはさらにグループ分けしましょう。
S：LINE　ツイッター　その他に分類しましょう。
F：嫌なことが多いかな？
S：プラスになることが少ない
F：写真を許可なくのせるは手段とは関係ない。
F：何が一番多かった？
S:ケンカとか友人関係が多かった。
F：共通で多かったトラブルを買いだしてみて
S:ケンカや権利侵害（肖像権）、詐欺・炎上
S:ケンカと悪口はどう？
F：LINE の講演で聞いたことをヒントに
S:言葉に絵文字がはいらないと不安。相手はふざけて言っていても自分ではどうしようと思う。
F:チェーンメールもまだある？
S:これをおくらないと死ぬとか
S：ツイッターはしやすい
S:車線にはいって写真をとって大変なことに
F:実際にあったことは
S:遊びにいった写真を載せて、「勝手に載せないで」といわれてケンカになった。
F:コンサートのチケットとは
S:メルカリでチケットの転売
F:LINE グループで退出は
S:先輩からやられることもあったらしい
F:ふざけるキャラで行うこともある？
S:時々ある
S:ネット用語がわからず、ケンカになった。伝わらないことがある。

『万が一でも遭いたくないトラブルってどんなもの？』
F:どんなトラブルがあるかグルーピング化してみよう
S:悪口系・詐欺・その他に分けよう
F:悪口や住所検索など巻き込まれないためにどうしていくか。考えてみましょう。

『万が一でも遭いたくないトラブルってどんなもの？』
F:ネットトラブルの予防はどうするべきか。悪口系とプライバシー系に分けてみましょう。(付箋の整理)
S:相手の顔をみて話す。
S:記号・顔文字を入れる。
F:悪口に関してみんなが今でもできる予防策は
S:相手の事を考える
F:今すぐできそうなことが多いね。みんなはどれがいいとおもう？
S:悪口は人によって変わってくる
S:一度考えてから送る必要がある。
F:何を考える
S:相手に送っていいものなのか？と考えることがある。
F:予防法はみんな同じような内容？
F:付箋に意見「文字では 100%伝わらないことがある」これはいいね。意見をさらにまとめていこう。

S:考える→話す→アフターケア
S:悪口が広がる段階にはいくつかある。
S：何気ない一言からけんかがはじまる。
F:書いた付箋をもとに内容をまとめていきましょう。

F:なぜその予防策が必要だったのか
S:悪口が問題だから言わないようにすることが大切
F:みんな同じ意見
S:みんなが守れることではない？
F:つい言ったことが原因で悪口になる。
S:言ったことで後悔することがある
S:対策が３つあればどれか守れる。
S:ぽろっといってしまったことが

S:悪口のトラブルになったら、親か先生に相談
友達に相談するとその相談自体が大きな問題になる
F:第三者への相談することが重要
S:予防が多くありますね
S:夜は興奮状態にあるので、大切な話は朝にと講演会で聞いた。
F:予防したけどおきてしまった場合の対応策はどうすればいい？（付箋の記入）
F:では、グループ分けをしましょう。まとめてみましょう。

S:自分からあやまる。
S:落ち着いて話をする。
S:ものにあたる
S:相手ともう一回話し合う。

F:起き
S:自分が謝るか、
S:ただ謝ると何が悪かったのかとトラブルになることがある。
F:何が悪かったかわかってから謝ることも重要
S:もう一回話したら時間がたっている部分冷静になれる。
S:自ら謝って、反撃されたら相談して話して自ら謝る。
F:ルートを作っていく？
S:ルートを作るのではなく、パターンを作っていくほうがいい。自分自身が怒っていると
F:トラブルが起こったら４つのパターンにあてはめていく
F:身の回りで起きたトラブル→まきこまれたくないトラブル→予防策→対策を考えてきたけど考えた結果はどうする？
S:４段階のステップを考える

発表資料作成へ
（シナリオ・プレゼンテーション資料）

＜熟議終了＞

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ所感】

上手く話し合いを進めることができたかはわからないが、最後の発表にて最高の発表をすることが出来たのでよい話し合いをすることができたのではないかと思う。高校生たちが意見を自ら言うことができたおかげであると思う。短い時間であったが高校生も私も良い経験をすることができたと考える。

【書記所感】

去年に引き続きとても素晴らしい機会に参加させていただきありがとうございました。ファシリテーターの方が高校生のみんなの中にはいり、意見を上手に引き出している姿にとても感動しました。短い時間にも関わらず意見をまとめていける力に感心するばかりです。意義ある時間となりました。また次の機会がありましたらお手伝いさせていただきたいと思います。

【４班】

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ】　上野瑞季　　　【書記】原加代子

F：身の回りのトラブルを付箋に書いてください S：２ちゃんねるで悪口を書いた人を特定する犯人捜し S：リアアカを友達に公開された S：LINE を始めた頃に知らない人からメッセージが来た S：許可なくＳＮＳに写真を載せられる S：既読無視・未読無視でトラブル S：文字だけのやり取りで感情が伝わらずトラブル S：Twitter アカウントの乗っ取り S：アンチ炎上 S：迷惑メール S：ネット販売で頼んだものと違うものが送られて来た S：同じ学校出身のアイドルの学校名や住所などを２ちゃんねるなどでさらしていた F:上がってきた問題を起こらないようにするには（予防） S：始める前に知識・使い方を知っておく S：ブロックすることを知られないように携帯が壊れたから連絡はメールか電話でしてと伝える S：思いが違って伝わらない為には顔文字・スタンプを多用する S：相手の機種に合わせて使える顔文字にする S：音声メッセージを送る S：予め写真を撮らないでと伝える S：撮った写真は使わないでと伝える S：自分が写真を使い時は相手のことを考える S：誰が見ているかわからないから過激な発言はしないあたりさわりのないことを言う S：鍵を付ける　公開範囲を設定 F：迷惑メール予防 S：フィルターを設定する S：無料登録サイトに登録しない S：怪しいものググる	F：（対策） S：困ったことがあったら大人に相談する S：使わないでと伝える時はｗｗなどの文字を入れて怒ってないけど変えてほしいと伝える S：既読・未読無視した時は「ごめん」最初にあやまる S：既読・未読無視された時はさりげなく催促。直接会った時に忙しかったのと遠回しに聞く。 S：既読無視にならないように「ちょっと勉強してくる」と伝える S：ウィルス対策怪しいリンクを開かない S：パスワードは簡単にしないサイト毎に変える Twitter だったら（ｔ〇〇〇〇〇t） Yahoo だったら（ｙ〇〇〇〇〇ｙ） S：アカウントを作りなおす S：パスワードを変える S：利用をやめる S：ググって対策方法を知る S：あきらめる　自業自得 S：消しても意味ない S：メアドを変える S：携帯電話会社に報告する ＜熟議終了＞

【ファシリテーター所感】

ファシリテーターとしての立ち位置がいまいち分からず、迷いながら進めていったが、子どもたちが多くの意見を出してくれていたので、とても良い議論になったと思う。私自身も学ぶことが多かった。時間配分を間違えてしまい、パワーポイント作成の時間が少なかったので、その点が反省点である。とても良い経験ができたので、来年もぜひ参加させていただきたいと思った。

【書記所感】

昨年も参加させていただきましたが、付箋に書いて貼るというのはとても良く、書記作業が楽でした。

来年も機会があれば参加させていただきたいです。

【５班】福岡女子商業高校３年女性　春日高校２年男性　福岡高校２年女性　遠賀高校２年男性　博多高校２年女性　講倫館高校２年女性

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ】奥田弥々加（福岡県立大学）　【書記】廣瀬順子（子どもねっと会議所）

F（ファシリテーター）：身の回りにあるトラブルをたくさん出し合い、付箋に記入し模造紙に貼ることを確認
F:みんなの付箋を見た感想は？
S：課金もトラブル？個人の責任じゃないの。
F：「依存」を具体的に書いてみよう
F:ウイルス感染の発信が意外に少ない
S:違法ダウンロードとかで・・
F：親に言われることは
S:課金は確認する
S:うちは確認しない・・家庭によって違うね
S:GPS の位置情報は親はつけろというが、学校はダメという。
F:絶対の正解がないってこと？
S:無知なことが一番危険。
S:親が言うことだけでなく、自分が正しい情報を持つことが大事。
S:ハッキングする人もいる。個人情報を探ったり、炎上させたりする人の気が知れない。
S:だから、予防と対策が必要
F:ケータイ落としたらどうする？
S:ラインのアドレスは読み込まない
S:ID 検索 OFF にしてるのに、知らない人からくることがある。
F:SNS で友達の友達から連絡が来たら？
S:スクショとって友達に聞く。
S:放置。
S:ブロック機能はありがたい。
S:フォロワーが多い人は他者の正論を人数で押しつぶすところがある。
F:権力を握られるけど、弱みも握られる
S：売名炎上させる人もいる
S:昔は知り合い同士のチェーンメール、今は SNS で不特定多数に拡散、しかも速い

F:手軽さについて
S:責任感がない。
S:既読の機能がついたせいで急いで返信しないと、と思う。
S:メールと違って一対多数
S:最近、ラインのツイッター化、共有、拡散の機能が出てきた
S:どのアプリを使っても自分が考えて使うことが大事
S:アプリの進化しすぎがいや。機能が進化する割にはセキュリティがついてきていない。
S:企業はアプリを進化させることが仕事だから、自分で見きわめていく、現代社会に負けないことが大事。ツールが何であれ、それに対して正しい知識をもって十分な情報を得たうえで自分で責任を持って判断することが大事。
アプリに使われてしまうのではなく自分が使いこなす

F:ネットの定義は？
S:ラインはネットって感じじゃない。メッセージ感覚。Yahoo など検索して出てくるのがネットって感じ。
S:ラインは手軽ゆえに若いうちのコントロールを学ぶ時期にこのゆるさしか知らないっていうのは、どうなんだろう。祖母から、社会に出たり、目上の方とのやり取りを勉強しろと言われた
S:風化が速い、入ったら抜けてく。ラインだと電話番号やメアド知らなくて、いざというときどうしよう。
S:手紙を書けない
コミュニケーション不足。面と向かって言えない。

S:ネットでコクるのはどう？
S:中学生は不安定だから一番してた。高校生になると自分の中でこうしたいというのがはっきりするので、面と向かったり電話したり。でも別れるときはライン（笑）

F:意識を高めるにはどうしたらよいか？
S:「きっかけ」
中学生時代の講演や間違いを起こしたときに学ぶ。
きっかけに気づかなかった人がトラブルにあうのかな。友達が（周りが）止めないと。
F:気づかない人はなぜ？
S:寂しがりや、止めてもらうのを待ってる、日常生活への不満。ネットはストレスの発散しやすい場所。海外に行ったときに現地の同世代がいじっていないことに気が付いた。コミュ力不足な日本人がスマホにはまるのかな
S：講演で出会い系サイトと言われてもピンとこない。ライントラブルの事例を聞くと
S:視野を広く
S:仕事と休憩との ON・OFF、リアルな生活を充実させる
F:家出の ONOFF は
S:勉強の時は携帯をリビングにおく

F:トラブルが起きたら？
S:自分のところでとめる。発散をネット上でしない。共感を得ることで安心
S:講演では親に相談と言われるけど、実際には言えない。匿名の相談ダイヤルがもっと活用出来たらいいなと。特別なことではなく、当たり前のこととして活用できたらいい。

F:理想と現実のギャップを埋めるには？
S:アプリを作った企業が使い方の利用目的や機能を広めていくことによって、気を付けることやトラブルを知る「きっかけ」になる。正しい情報源から正しい使い方を提供してほしい。
S:情報モラルの授業や講演会で、掲示板や出会い系のトラブル事例を出されてもピンと来ない。時代に沿った事例を出してほしい。
S:アップデートの更新情報などを分かりやすくしてほしい。更新したらこうなるという危険情報を知らせてほしい。
S:生の現実世界のコミュニケーションを充実させる。昔は、ネットがなくても生きてきたのだから。

＜熟議終了＞

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ所感】　何かを記入するとき以外は、全員立ち模造紙を見ながら、激熱した議論を交わせました。各メンバーは、個人の意見を聞きながら議論をし、全員で深められました。その中で、高校生とは思えないほどの深い名言も出てきたときには、全員で感動いたしました。このような感動とともに、一緒に協力して、発表できたことを、今後の成長に生かしていってほしいです。ありがとうございました。
【書記所感】高校生が、これほどに広い知識を持ち、深く考え、協調性をもってまとめ上げていく力を持っていることに驚きました。正解のない情報モラルだからこそ、子供達の発言が活発で感動する場面も多くありました。初対面同士で議論をぶつけあい、結論へ導く手助けをされたファシリテータのお力もありとても良い時間を共有できたと思います。

【6 班】博多高等学校 2 年　講輪館高校 2 年　香椎高校 1 年　福岡中央高校 2 年　福岡女子商業高校 3 年　若葉高校 2 年

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ】福岡県立大学　3 年　森下　佳祐さん　【書記】森冨

F（ファシリテーター）:
S（書記）:
F:「自分たちの身の回りにあるネットトラブルを考えよう」ということで自由に発言してください。
どんなネットトラブルがあるか付箋に書いてみましょう。
F：重なってもいいからどんどん書こう。

・模造紙に付箋を貼る
F：似ている意見があればグループとしてまとめてみよう
S：「悪口」と「けんか」の間に「炎上」を貼ろう

・模造紙をまとめていく
F：模造紙のまとまったグループにタイトルをつけてみよう
S：「ハッキング」「不正アクセス」ってのっとり系では？
S：「ハッキング」を色かえてみませんか
S：「乗っ取り」と「なりすまし」は近くない？

・今後のグループの方向性を検討
S：「犯罪」と「犯罪ではない」というグループにわけて考えたとき、「犯罪ではない（ネット炎上）」について掘り下げて考えてみてはどうだろう。
S：「犯罪」グループを掘り下げたときに「予防」「対策」を考えたとき「通報」や「警察からの情報をまつ」というありきたりな内容になってしまうから、時間をかけて「犯罪ではないグループ」を掘り下げてみてもいいと思う。
S：自分は共通点も見えてくれば「情報モラル」という大枠もみえてくると思うのでどちらも掘り下げて考えてみてはどうだろう？
S：「犯罪」グループは最終的には警察頼みになってしまうけど、巻き込まれる場合と巻き込んでしまった場合とではとらえ方や対策も変わってくるのでは？
F：君はどう思う？（途中参加の S）
S：はっきりとはいえない
F：どういう方向性で考えていくかどんどん意見だして考えてみよう
S：多数決で決める？
S：原因を一度探ってみて方向性を決めていくというのはどうだろう

・方向性を探るために原因を追究
F：では一度原因を書いてみようか。
まず「悪口」「けんか」の原因から考えてみようか
付箋を渡し原因について書き込む
・原因について
S：相手がみえないから言葉遣いが悪くなる
S：知らない人と炎上した場合は無視すればいいのに、わざわざ返信するからさらに炎上する
S：ネットの特性である「広がる速さ」に気付いてなくてさらに炎上することになる
S：文章だけでは冗談なのか気持ちが伝わりづらいところがある
炎上やけんかは「とめる人」がいないということもなかなか消えない原因だと思う
S：みんなの意見の共通点として「相手が自分に対してどういう気持ちで言っているのかわからない」という点があげられる。掲示板で悪口を言われるのと LINE で言われるでは傷つく度合が違う。だから「言葉遣いのルール」を決めるというのはどうだろうか。
対処法１　相手に伝わるように詳しく書き込む
対処法２　自分で都合のいい解釈ができるようにふわっとしたメッセージを書き込む
例えば「荒い言葉を使う」というルールをそのコミュニティの中で作るとショックがやわらぐ
S：それは解決策にはならないと思う
S：傷つく人は少なるかもしれないけれど、炎上はへらないと思う
F:Line とか閉鎖されたグループだと低いハードルを設定することによって効果はあるかもしれないけど、Twitter とかでは炎上のきっかけになってしまうので、一つの方策がすべての解決策につながるわけではないよね？
S：逆に LINE でトラブルにあったことありませんか？
S：タイムラインでなら・・・
F：炎上って言葉遣いで水掛け論的に盛り上がってしまうことになっていることもあるので、「みんなで敬語を使う」という少し高いハードルを設定をつくることも対策になるかもしれない。
S：発信者の内容によって炎上することもある
S：自分の中での「ルール」をつくってもいいかな？
S：ネットを使うにあたっての考え方を考える
F：利用規約みたいなものをつくってみようか
F：書き込むと親に通知がいく・・・みたいな仕組みがあってもいいと思う
S:ちょっと煮詰まってきたのでもう少し他の原因も探ってつながりをみつけてみよう

・他の原因も追究する
S：自分に問題がある。自分を守るための対策がとれていないのも問題としてあると思う。自分の技量を試すという方向性が間違っているから犯罪につながっていると思うから。「自分は大丈夫でしょ？」という謎の自信が詐欺とかにひっかかってしまうことにつながっていると思う。
S：Twitter の関連アプリの利用規約とかって「のっとります」的なことがはっきり書いてあるのにみんな気付いていない
S：「自分が詐欺をしたことがない」こととは、「自分が詐欺をするなら・・・」という立場で考えると詐欺にあわないように勉強をしたり、どこが甘いのかを考えるきっかけになっていく
S：シミレーションしてみるのがいいんじゃないのかな？そういう体験を通じて考えるきっかけになるんじゃないかな？
F：相手の立場を理解することによって対策にもなるよね。
S：「知識をもつ」ことが大事
S：「利用規約」をもっとわかりやすく字を大きくしたり、わかりやすく書いて欲しい。
S：利用規約って文字だけにしなくていいと思う。図とかも交えて頭に入りやすいものや読んでみようと思わせるものにしてもらいたい

S：関連づけて考えてみよう
F：少し着地点を意識してまとめてみてはどうだろう

・プレゼンにまとめる方向性を検討
S：「知識を深める」「ネットモラル」を根本的な対策としてはどうだろうか。
S：２つのグループ（犯罪・犯罪ではない）それぞれでまとめてものを統合的にとらえると・・・というふうにまとめていってはどうだろうか。
S：面白おかしい要素をまとめに入れていくと思う
S：「犯罪ではない」系を歴史上の人物を用いてまとめていくと面白くならないだろうか？

S：センス的にはいいと思う
F：着地点を先に決めていこうか
S：少し流れを書いてみようか
S：紫式部と清少納言を LINE になぞらえてはどうだろうといったのは、二人が仲たがいしていた状況と作品の中にも悪口
S：表現方法がかわるという視点で捉えていくと今までの視点とかわらない気がする
S：普段使っている表現方法を「古語」や「英語」を使うという特別なルールだと炎上しづらい状況が生まれると思う
S：たとえ話をつくりませんか？
「ポケモン GO をしてたから事故にあった」ということが世の中で言われることが多いけど、「包丁を持ったから殺人が起きるのか」というと一概にそうではない。そういう視点が考えてはどうだろうか。
F：ネガティブに考えるのかポジティブに考えるのかってことだよね？
S：プレゼンの一番始めにもってきたほうがインパクトがあっていいと思う
S：「知識をつむ」という大枠で細かくとらえていこう
F：少し細かい内容となってしまっているのでもう少し広い視点からとらえてみてはどうだろうか。
S：「知識」と「モラル」を守るということでかんがえてみてはどうですか

＜熟議終了＞

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ所感】

最初は子どもたちの様子を見ていて。「上手くまとまるかな？」と心配になっていましたが、きちんとまとめていたので一安心できました。激しい議論を交わしていた中でまとめられていた能力は素直にすごいと感じることができてとてもうれしかったです。ファシリテーターとしてサポートができたかは不確かですが最後までやり遂げた子どもたちにお疲れさまでした、と伝えたいです。ありがとうございました。

【書記所感】

今回は貴重な時間をともに参加させていただきとても勉強になりました。高校生たちが自分の意見をはっきりと発言するだけでなく、人の話もきいた上でまとめあげていく姿は見ていてとても清々しいものでした。また時間がない中プレゼンを作っていく過程でそれぞれが自分の役割を把握し、初めて知り合ったお友達と協力していく様子をみていて頼もしさも感じました。まとめあげていくファシリテータの方にも本当にお疲れ様でしたとお伝えしたいところです。

本当にいい機会を与えていただき、ありがとうございました。

【7 班】

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ】花田　【書記】西藤

F（ファシリテーター）：まずは各自で考えられるネットトラブルを考えてみよう。
緑の付箋に個人が考えるネットトラブルを書いてみましょう。あとで分類分けするので、一枚に一つ書いてみましょう。自分の物差しで何でもよいので思いつくことを書いてみましょう。自分が思わなくても他人がおもうことがあるかもしれないけど、たくさんあったほうが話がふくらむね。
スマホが普及されて SNS を使うときに個人情報についてのトラブルなど、、、
きりがよい 45 分まで。きれいな言葉でなくても、あとで自分の言葉を付け加えてもらえたらと。
ぱっとみわたして、なりすまし、の意見が多いのでまとめて貼ってみましょう。項目をまとめて貼ってみましょう。
（模造紙に、各自書いた付箋を似た項目に分けて貼っていく）
分からない言葉を
S：キーロガー→入力した言葉が記憶される。
ショルダーハッキング→
フィシング詐欺→つらせて
トロイ→ウィルス
F：分けた項目に題目をつけてみよう。例えば囲んで、「詐欺」と書く。項目同士の関連性も書いていく。
S：架空請求も詐欺では？
S:では詐欺に入れよう。
F:そうやってどんどん考えていこう。
S:出会い系サイトは詐欺では？
F:では詐欺近くにおこう。
S:これは個人情報でまとめれる
F:なりすましは詐欺？全部にかかわってくる？
S:友だちとの口けんか、ネットでの他人の悪口、同じ項目
S:SNS？
S:ほかに〇で囲めそうなところは？
S:ウィルス
S:知らない人から連絡がくるは個人情報では？
F：なりすましはどうする？種類分け
S:種類分けにしたほうがすっきりする？
F:なりすましはどこに入れる？どこにでも入るということはなりすましという項目ができるのでは？なりすましについてもっと詳細な内容を書いていってみましょう。
F:今書いたものを、なりすましに関連するものを、なりすましの項目にいれてみましょう。
F:今項目に分けて〇を書いてもらったけど、〇と〇の関連性を考えて、線でつないでいこう
S:オレオレ詐欺は個人情報が洩れてかかってくるので、個人情報と詐欺はつながってる！？
S:ウィルスは感染して個人情報を盗るので、つながってる！？
S:ほしいのは個人情報。
アカウントののっとりはなにがいたいのか！？のっとりは個人情報がほしいだけじゃない。
なりすましはなりすまして、出会いたい。
F:関連がないならなでよいので、つながらないならつながらなくてよい。著作権がつながらないならつながらなくてよい。
つながりそうな２個をつなげてみよう。
そしたら個人情報が全ての項目とつながりそうなので、個人情報を真ん中において、中心にして考えてみましょう。違う模造紙に貼りなおしてみましょう
F:今度ははっきりボールペンで線で結んでいこう。
S:パスワードは個人情報では？
S:パスワードを知ることによって何を目的にしてるかが変わるから、個人情報とパスワードは別だけど、つながる。
F:では次は付箋の色を変えて、予防策を書いてみましょう。
出会い系だと個人情報をのせなければ個人情報は漏れないかもしれないし、それぞれの項目の予防法をかいてみましょう。正解はないから、自分の思うことを書いてみましょう。
今書いたものを関連のあるものの所に貼ろう。
次の段階としては予防と対策を考えないといけないので、今貼ってる予防策を１つにまとめていきましょう。
S：パスワードは難しくするほうがよい
S:一度知られてしまったら定期的にかえるほうが良い。
でも定期的にかえるより、難しくするほうが良い。
S: 定期的にかえるは対策。難しくするが予防では？
S ウィルスはウィルス対策ソフトを入れる。
S:時々ウィルス対策ソフトを偽ったウィルスソフトがある。あなたたのパソコンはウィルスソフトに感染してますとか出る。あやしいものはクリックしない。
詐欺
知識を持つ

S：詐欺があるという知識を持って、ひっからないようにする。
メールだったら無視すればよいし、アプリをダウンロードしたときはまた対策が変わっていく。

違法は罪を重くする。
何が違法かわかっていない。まずは分からないと。
音楽だったら音楽を出す側と会社によって違う。
会社側が手を出せない状態にする。
会社側を考えると大変なので、自分側で考える。DL が違法なら DL はしないとか。何が違法か知るとか。
S:違法 DL は自分がしないしか対策がない。
著作権に関してはまた違う。
著作権については肖像権とか色々ある。
F:違法 DL は捕まらなければラッキーになるので、難しい。
出す会社側が何とかしてもらい、自分たちは Dl しないしかない。
（ネット上の友達とのトラブル）
S:ラインなど、自分がイライラしてうったときは見返したくない。消せないし、そういうときは打たないほうが良い。
実際に顔を合わせて話すほうが誤解がうまれない。
直接話す。
ネットの他人の悪口　誰のことをさすのか・友達？芸能人？
誰にしても悪口はかかない。
情報を全てを信用しない。
（個人情報）
ダダ漏れとひらきなおるしかない。
どこから情報がもれるのだろうか？
学校は個人情報は載せない。
Twitter くらいを教える仲で、自分が外出中などつぶやいたら、その人にも知られてしまう。
個人情報は知られて当たり前と思い、どうするか考える。
どこから漏れたのか。
予防策はない。対策のほうを重要視したほうが良い。
F:そしたら対策を考えよう。
S:対策は色々考えたほうが良い。
出会い系からいこう
相談する、会わない
そもそも予防と対策が分からない
対策はおこったとき
会わない、相談する

次ウィルス
感染に気付いたらすぐにネットワークから切り離す
ウィルスに感染したら、
インターネットで対策方法を調べる
携帯会社に相談する
知識のある人に相談
ウィルスは勝手にくる、出会い系はいかなければいいけど。。。
詐欺について
警察に相談
知識をつけて相談する
相談以外を考えたい。
F:遭った被害を詐欺を共有する
予防になるかな
みんなの意見で考えてよい。相談なら相談で良い

友達同士のトラブルは友達に相談は難しい。
言う相手は考える。
第３者に相談、ホットラインの活用
（だます、ウソ）
熊本地震のライオンが逃げ出した
情報をどこまで信じてよいか分からない。
熊本地震のライオンの Twitter 警察に捕まった。
Twitter でデマを流すのは違法！？
信用しすぎないのは大事
Twitter、ラインデマ情報法は周りに報告する

パスワードについて
別の端末からログインされたら連絡くる
のっとられたらアカウントにログインできなくなる→相談
パスワードが変えられなくなったら相談する

個人情報
開き直る
バレてるものと思い行動する。
色んなところに情報があるということを理解し、受け入れる、心構えのようなもの。

相談が大事という対策が出た。
予防においては
知識をもつ
罪を重くする
情報、ネットを信用しすぎない。

【ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ所感】

年齢もそんなに差がないのに高校生の考えや視野の広さに感動しました。

自分のほうがいたらないところばかりで高校生に感謝しかないです。

【書記所感】

高校生はお互い初めて会ったばかりなのに、自分の意見をきちんと持っており、議論しており素晴らしかったです。